

令和2年度学校自己評価システムシート (県立大宮商業高等学校 定時制課程)

目指す学校像	地域とともに未来を切り拓く、心豊かでたくましい生徒を育成する
--------	--------------------------------

重点目標	1 授業改善により、生徒の主体性を育み、学習習慣の確立と学力を定着させる 2 キャリア教育の充実により、生徒の進路意識を高め、進路実現を支援する 3 地域・保護者・外部団体との連携強化と教育活動の効果的な情報発信により、愛され信頼される学校をつくる 4 コミュニケーション能力の育成により、チャレンジ精神に溢れたたくましい人財をつくる
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	7名
	事務局(教職員)	10名

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p><現状> ○少人数のため、対話的な授業展開により、学びやすい環境にある。 ○学習意欲の高い生徒とそうではない生徒が二極化してきている。</p> <p><課題> ○「主体的・対話的で深い学び」となる授業実践の工夫が必要である。 ○学習意欲の向上を図り、基礎学力の定着、検定試験合格率向上の具体策が必要である。</p>	<p>○生徒が主体的に参加できる授業を展開し、基礎学力を定着させる。</p> <p>○各種検定試験への参加者数及び合格者数を増加させる。</p>	<p>①ICTの活用や教材・教具の工夫などにより、生徒の学習への興味・関心を引き出す。</p> <p>②生徒の成功体験を積み重ね、生徒が主体的に参加する授業研究を促進し、授業改善を行う。</p> <p>③各種検定試験の積極的な受験を促し、学習の動機づけとする。</p>	<p>①欠点保有率が昨年度と比較し5%減少したか。</p> <p>②アンケートにおける授業満足度が90%以上であるか。</p> <p>③検定試験の受験者や合格率が昨年度と比較して増加したか。</p>	<p>基礎学力の定着、検定試験合格者数の増加について、ほぼ目標が達成できた。 ①2学期末の欠点保有率は昨年度より1%減少。(H31:14.2%、R2:13.2%) ②アンケートにおいて、授業満足度は7月が84.3%、12月が91.7% ③全商ビジネス文書実務検定1級1名、3級2名(H31:1級1名、2級2名、3級1名)、情報処理技能検定(表計算)初段1名、1級1名、2級3名、準2級9名、3級15名、日本語ワープロ検定3級4名、電卓計算能力検定3級12名合格、漢字検定準2級1名、3級1名、4級1名、5級2名(H31:3級2名)合格。</p>	A	<p>・今年度以上に生徒が主体的に授業に参加できる体制を整える。そのために、教員相互の授業研究をより活発に行う。</p> <p>・普通科・商業科問わず、取得可能な検定試験を、生徒自らが積極的にチャレンジするような意識付けを行う。そのために、日常から検定試験取得のメリットを進路面談等も活用しながら一人ひとりに理解させる。</p>
2	<p><現状> ○主体的に進路活動を行う生徒とそうではない生徒の差が大きい。 ○進路実績では未定者数が減少した。</p> <p><課題> ○低学年の生徒の進路ガイダンス参加率が低く、入学時から計画的に生徒の進路意識を高める必要がある。 ○進路決定率を向上させる。</p>	<p>○計画的で継続的な進路ガイダンスで出席率を向上させる。</p> <p>○進路決定率を向上させる。</p>	<p>①定期的に進路便りを発行する。</p> <p>②LHRや総合的な学習の時間の活用により、生徒の進路意識を高め、自主的・自発的な進路活動につなげる。</p> <p>③就職支援アドバイザー、地域若者サポートステーションさいたまなどの外部の教育力を有効活用する。</p>	<p>①年間を通して進路便りを発行したか。(年間5回以上発行)</p> <p>②進路ガイダンスへの出席率が平均90%以上であるか。</p> <p>③進路決定率が100%であるか。</p>	<p>進路活動への意識を向上、進路決定率の向上について、ほぼ目標が達成できた。 ①年間を通して進路だよりを発行。(12月24日現在4回) ②進路行事への出席率は、進路講演会90%、進路LHR91%、社会体験活動80%。 ③進路決定率100%。(2月22日現在)</p>	A	<p>・主体的に進路活動を行う生徒とそうでない生徒の差が見受けられる。進路活動に積極的に動く上級生と、下級生とが交流する機会を設けるなどの工夫が必要である。</p> <p>・進路決定率を100%にする。進路指導部・担任・就職支援アドバイザー・地域若者サポートステーションさいたまなどと連携・協力し、生徒一人ひとりにあった進路活動を行う。</p>
3	<p><現状> ○ホームページのアクセス数が伸びている。 ○学校見学の問い合わせや参加者が増加してきている。</p> <p><課題> ○本校志願者数を確保する必要がある。</p>	<p>○外部への効果的な広報活動やツールを活かし、ホームページアクセス数を更に伸ばす。</p> <p>○志願者数を増加させる。</p>	<p>①ホームページ更新頻度を増やし、アクセス数増加につなげる。</p> <p>②学校案内等を近隣中学校等へ配布するとともに、本校生徒の取り組みを積極的に発信し、志願者増加につなげる。</p>	<p>①ホームページのアクセス数が昨年度より増加したか。</p> <p>②学校説明会への参加者が昨年度より増加したか。</p> <p>③志願者数が昨年度より増加したか。</p>	<p>ホームページの更新数、アクセス数の増加、志願者数の増加について、概ね目標が達成できた。 ①各行事や進路状況についてホームページ更新回数の増加(平均週5回)及び、「生徒会より」の増設。 ②学校説明会の参加者数は昨年度の同時期と同数。(12月31日現在9名)</p>	B	<p>・引き続き中学生が本校に興味関心を持てるよう、ホームページの更新回数を増加させる。また、見たい情報をすぐみられるようなレイアウトを作成する。</p>
4	<p><現状> ○生徒は、概ね落ち着いた学校生活を送っている。 ○立哨指導、巡回指導で生徒とのコミュニケーションを深めている。 ○自治会との連携により体験活動・ボランティアを行っている。</p> <p><課題> ○保護者や地域に対して本校の教育活動を発信し、安心・安全な学校としての指導体制を更に充実させる必要がある。</p>	<p>○生徒への積極的な声かけや信頼関係づくりを行う。</p> <p>○PTA活動や地域との連携の活発化により、教育活動の理解促進を行う。</p>	<p>①立哨指導と巡回指導の継続、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携により、生徒の心のケアを第一に考えた相談体制で指導を行う。</p> <p>②PTAや自治会との連携活動(夏祭りボランティアなど)を深める。</p>	<p>①中途退学者が減少したか。</p> <p>②地域との連携活動への生徒参加回数が昨年度(4回)より増加したか。</p> <p>③各種行事への保護者の参加者数が昨年度(スポーツの祭典に8名、給食試食会6名・文化行事に7名)より増加したか。</p>	<p>生徒との信頼関係作りや、不登校支援について、概ね目標が達成できた。 ①中途退学者は12月31日現在0名。 ②地域との連携や、行事への保護者の参加については新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から実施できなかったが、校内での募金活動や、形を変えての行事の実施等、生徒が主体的に運営・参加した。</p>	B	<p>・若干ではあるが、突然長期欠席になってしまう生徒や、SCにならなうとしても拒否する生徒がいる。立哨指導を含め、粘り強く声掛けを行い、生徒が相談しやすい体制を作る。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、新しい形の行事の開催、保護者や地域との連携を模索する。</p>

学校関係者評価	実施日 令和3年2月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>・欠点保有率減少の目標達成に向け、次年度は今年度以上に丁寧な対応を期待したい。</p> <p>・授業アンケートの結果は良好であり、継続してアンケートを実施し、現状把握と学校改善を進めてほしい。</p> <p>・各種検定試験に対する丁寧な対応が見て取れる。生徒の学習意欲向上にもつながるため、継続していただきたい。</p>
	<p>・年間を通した進路だよりの発行は生徒の進路意識を醸成するために効果的である。</p> <p>・コロナ禍において、不安を抱える生徒に対する対応を次年度以降も引き続き行っていただきたい。</p>
	<p>・ホームページに、生徒の活動状況をいままでも以上に載せることで、学校の良さを発信していただきたい。</p> <p>・「生徒会だより」の定期的な発行を期待したい。</p>
	<p>・立哨指導、巡回指導などによる生徒との信頼関係作りは継続していただきたい。</p> <p>・コロナ禍で地域との連携ができなかったが、次年度以降はできる範囲で交流を再開したい。</p> <p>・全日制の文化祭に参加するなど、PTAも含めて全日制と定時制が交流する機会を設け、学校を活性化させたい。</p>